

アユ資源の状況について

1. 令和3年産卵調査結果（第3次調査まで）

- ・毎年8月下旬から2週間ごとに県内11河川を対象に産卵調査を実施している。本年の第3次調査までの合計産卵数は151.3億粒で、平年比214.9%（平年値70.4億粒）となった（表1,2）。
- ・現時点で親魚が減少しつつあることから、本年は第2次調査が産卵のピークとなると見込まれる。8月中旬以降に断続的な降雨があったことと、昨年や一昨年のように気温が高くなかったことが早期の産卵を促したと考えられる。

表1. 調査河川ごとの有効産卵数*

(単位:億粒)

河川名	第1次調査 8月27日～9月1日	第2次調査 9月13日～16日	第3次調査 9月27日～30日	第4次調査	第5次調査	第6次調査	計**
安曇川北流	0.0	0.0***	0.0				0.0
安曇川南流	0.0	1.7	0.2				1.8
石田川	0.4	32.0	3.6				36.0
知内川	1.3	34.1	1.7				37.1
塩津大川	0.0***	0.2	0.3				0.6
姉川	1.0	59.2	4.5				64.7
天野川	0.0	3.1	0.4				3.5
芹川	0.0***	1.6	0.5				2.1
犬上川	0.1	3.9	1.0				4.9
愛知川	0.0	0.1	増水				0.1
野洲川	0.0	0.0	0.0***				0.0
和邇川	0.0	0.3	0.1				0.3
計**	2.7	136.2	12.4				151.3

* 有効産卵数: 総産卵数から死卵数を除いた値。***単位未満の産卵がありました。

** 数値は表示単位未満を四捨五入しており、合計と内訳の計が一致しないことがあります。

表2. 有効産卵数の年別比較

(単位:億粒)

年	第1次調査	第2次調査	第3次調査	第4次調査	第5次調査	第6次調査	第7次調査	計**
H23	0.0	13.4	81.0	13.2	0.8			108.4
H24	0.0	0.8	1.2	4.8	0.2	0.0		7.0
H25	10.3	32.2	2.5	0.0	0.0			45.1
H26	0.6	36.6	9.2	24.0	0.2			70.6
H27	0.0	79.3	15.4	2.1	0.2	0.0		97.1
H28	0.0	6.4	170.7	36.7	0.0	0.0		213.8
H29	0.0	0.1	2.4	0.2	-	0.0		2.7
H30	0.1	8.4	3.8	0.2	0.1	0.2	0.0	12.8
R1	0.0	13.1	25.7	11.7	3.1	0.0		53.6
R2	0.0	12.4	28.9	4.7	1.7	0.0		47.8
平年値*	0.1	19.0	27.1	9.3	0.5	0.0		70.4
R3	2.7	136.2	12.4					

* 平年値: 過去10年のうち、最大値と最小値、肥満度低下により産卵が激減したH24年および過小評価と判断されたH30年の値を除く平均値。

** 数値は表示単位未満を四捨五入しており、合計と内容の計が一致しないことがあります。